

## 交通信号工事士技能検定の実施

### ごあいさつ

#### 副理事長 大塚勝弘



(株)都市交通テクノロジー  
代表取締役

今年度は、当協会発足から6年目となりました。

第2種交通信号工事士技能検定が昨年から一般公開となり、今年は8月2日(日)全国一斉に実施され200名以上の方が受験されました。その受験者の中には当協会会員以外の方が相当数受験されました。これは新聞広告やダイレクトメールの活用をはじめ、役員や会員方々の勧誘活動等の努力の賜物でもありますが、当協会の知名度と当協会の社会への役割が浸透しつつあるのではないかと自負しております。

第1種交通信号工事士技能検定及び交通信号工事ハンドブック(保守点検版、設計版)(仮称)の作業については、現在鋭意努力していることから、今年度末には形が見えてくるのではないのでしょうか。

また、交通信号工事士資格取得者の総数が2,000名を超えております。この数字は、当協会の社会貢献の度合いがますます重くなってきているのを表していることではないのでしょうか。

平成27年度の更新講習会については4、5月に開催され300名弱の方が受講されました。来年度受講しないと1,000名程度の方が資格を失効してしまいます。交通信号工事士の方々には効率的な受講対策をお願いしたいと考えております。

当協会の発展は、会員皆様のご協力によって成り立っております。今後とも皆様のご支援を頂きながら協会発展に努力したいと思います。

### 更新&技術講習会

平成27年度の更新&技術講習会が下表の日程で開催されました。開催場所は10会場で延べ12日間開催され、294名が受講されました。

今回の内容は昨年に引き続き、講習内容は「信号制御機の構成と機能・性能について」、「交通信号制御の基礎知識」、「安全管理の方法」、「交通信号甲子園(試験実施)」のダイジェスト版による視聴覚講習でした。

交通信号工事士の資格を初年度に取得された方は、平成28年度で資格が失効してしまいます。来年度の更新講習会には、必ず受講していただきますようお願いいたします。

また、今後とも受講生の皆様が現場で役立つ資料の提供に心掛けていきたいと考えています。

開催日	開催都市	開催会場	受講者
4月11日(土)	福岡県福岡市早良区	福岡医療専門学校	21
4月13日(月)	岡山県倉敷市	倉敷市芸文館	22
4月14日(火)	大阪府大阪市中央区	大阪府社会福祉会館	22
5月15日(金)			30
4月21日(火)	神奈川県小田原市	小田原市民会館	17
4月22日(水)	東京都千代田区	科学技術館	46
5月19日(火)	東京都墨田区	全信工事務所	15
5月27日(水)			11
5月11日(月)	北海道札幌市中央区	北農健保会館	14
5月13日(水)	岩手県盛岡市	アイーナいわて県民情報交流センター	17
5月22日(金)	愛知県名古屋市中区	名古屋企業福祉会館	49
5月28日(木)	埼玉県さいたま市大宮区	大宮ソニックシティ	30

## 交通信号工事士技能検定

平成27年度交通信号工事士技能検定試験は全国一斉に9会場を実施され、247名が受験されました。合格発表は11月下旬です。全員の合格を祈念しています。

### 平成27年度交通信号工事士技能検定受験状況

受験地	会場名	申請数
札幌	北農健保会館	10
仙台	ハーネル仙台	23
東京	UDX Gallery Office	45
新潟	新潟会館（公立学校共済組合）	10
名古屋	名古屋企業福祉会館	20
大阪	新大阪丸ビル別館	44
高松	高松商工会議所	6
高知	荒川電工株式会社テクニカルセンター	26
福岡	福岡医療専門学校	63



仙台会場



東京会場



大阪会場



福岡会場



## マレーシア&シンガポール視察記

昨年アメリカ視察に引き続き今年度は東南アジアの視察が企画された。今回も高田日本大学名誉教授引率の下、総勢20名のメンバー。訪問する都市は、マレーシアのペナン市とシンガポールである。

マレーシアはポルトガル領、オランダ領を経て18世紀末、イギリスの植民地となり、その後第二次世界大戦で日本の植民地となる。1963年マレーシア連邦が成立、1965年シンガポールは人種差別等の理由でマレーシア連邦から独立し、現在に至っている。

平成27年6月20日、羽田発午後10時55分シンガポール航空SQ-635便にて一路シンガポールチャンギ空港へ。

6月21日、シンガポール着午前5時、3時間後にシルクエア航空MI-346便にてマレーシア・ペナン島へ出発、1時間半後にペナン市に到着。ペナン市はマレー半島の西方に位置し、面積295Km<sup>2</sup>、人口70万人程度の島であるが、2008年にジョージタウンが世界遺産に登録され有名である。

6月23日、ペナン市役所にて交通信号機について説明を受ける。ペナン市の交通信号制御は、当初16基の信号機を制御する管制センターから始まり、現在では270基の信号機が運用されている。しかし、信号機での制御には限界があることから、一方通行や環状交差点を採用し、渋滞対策を図っているとのことであった。

また、過去にイギリスの植民地であったことから左側通行であり、われわれ日本人には違和感がないものの、信号運用には疑問符がつくような運用が若干見られた。

信号機の設置方法は、日本のようにオーバーハングは少なく、大半が歩道から2メートル程度の柱に縦三位の灯器が設置されている。視察中、目にした灯器は全てLED灯器であった。

信号工事は入札により設置業者が決められ、点検委託も入札で決められ、1年契約とのことであった。

6月24日、ペナン市からシンガポールへ移動。

シンガポール共和国は、北緯1度、赤道から約140kmの位置にある。面積は約716Km<sup>2</sup>(東京23区と同じ)、人口は540万人、民族は中華系が3/4を占めている。

6月25日、シンガポール陸上交通局において道路交通についての現状と今後の展開について説明を受けた。

この国は非常に綿密に計画された都市国家であり、陸上交通に対しても例外ではなく、道路網については高速道路が整備されており、車両台数については増加させないために車両取得権利制度がある。車両を購入するためにこの権利を入札で取得して初めて自家用車を購入できるのである。輸入税、登録料等を支払うと日本での車両価格の3倍以上の価格となる。

また、シンガポールの中心地へ進入しようとする電子道路課金制度(ERP Electronic Road Pricing)により一定額が徴収されるのである。

課金は、車種、時間帯により異なり、感覚的には課金が1ドル上昇すれば10%程度の車両が減少するだろうとの説明であった。建設費は当初1億ドルであったが、毎年改良等を進めている。維持費は課金から得られる収益とほぼ同じとのことであった。

信号機の設置方法は、幹線ではオーバーハングであるが、それ以外ではペナン市と同じく歩道から2メートル程度の柱で設置され、灯器は縦三位で設置されている。また、横断歩道用信号機の表示時間は、幅員12メートルの道路で歩行者の10秒青表示+12秒残り秒数が点滅+全赤3秒であった。

今回の視察は、自由都市であるマレーシアと計画都市であるシンガポールという両極端を視察することができ非常に有意義であった。



ペナン市役所でのブリーフィング



シンガポール陸上交通局でのブリーフィング



ERPと標準的な信号機の設置

AED (自動体外式除細動器)

カルジオライフ AED-2100

日本光電の技術を結集したAED!



普及タイプ



リモート監視端末付

製造販売元：日本光電工業株式会社  
販売名：自動体外式除細動器 AED-2100 カルジオライフ  
医療機器承認番号：22100BZX00362000  
クラス分類：高度管理医療機器、特定保守管理医療機器

AEDリモート監視システムが5年間無料で利用できます※1

- 国産AEDファーストモデルとして、幅広い市場で設置がされている日本光電工業製AEDスタンダードモデル。
- 初期費用を抑えたコストパフォーマンスモデル。
- 成人・小児モード切替スイッチで幅広い年代に対応可能
- 電極パッドの使用期限をアラーム音でお知らせ

価格についてはお問合せ下さい

サイズ	W265×H100×D320mm
重量	約2.70Kg (バッテリーパックNKPB-2871を含む)

カルジオライフ AED-2150

あなたの命を守る日本光電のAED!



ハイスペックタイプ



リモート監視端末付

製造販売元：日本光電工業株式会社  
販売名：自動体外式除細動器 AED-2150シリーズ カルジオライフ  
医療機器承認番号：22400BZX00044000  
クラス分類：高度管理医療機器、特定保守管理医療機器

AEDリモート監視システムが5年間無料で利用できます※1

- 電源を入れた時から、音声ガイドに加えて、画面に液晶画面のイラストとテキストメッセージを表示し、AEDの操作と心肺蘇生の手順を視覚的にサポートするハイスペックモデル。
- 音声が届き取りにくい環境、音声が届き取りにくい人にも配慮した幅広いユーザ対象のモデル
- 成人・小児モード切替スイッチで幅広い年代に対応可能
- 電極パッドの使用期限をアラーム音でお知らせ

価格についてはお問合せ下さい


サイズ	W265×H100×D320mm
重量	約2.80Kg (バッテリーパックNKPB-2871を含む)

注意事項

**AED日常点検タグをよく見える所に!**

**忘れないで日常点検!**

AEDは救命処置のための医療機器です。AEDを設置したら、いつでも使用できるように、AEDのインジケータや消耗品の有効期限などを日頃から点検することが重要です。製造販売業者または販売業者が、設置者の保守管理の手続を軽減する独自のサービスをご用意しております。お客様のご都合に合わせて、これらを利用して、いつでもAEDが使える状態にしておいてください。



- ・納品時の添付文書を必ずお読みください。
- ・バッテリーの待機寿命は、設置環境や使用状況により短くなることがあります。
- ・電極パッドは使い捨てです。再使用できません。
- ・未就学児の患者さんには、P-530またはP-532を使用してください。P-530またはP-532が近くにないなどやむをえない場合には、2枚のパッドが触れ合うことがないように注意して、P-531を代用してください。
- ・AEDに不測の事態が発生した時及び誤操作時（高度管理医療機器等販売業の許可業者に限る）、廃棄時には、製造販売業者または販売業者にご連絡ください。

お問合せ先



URL <http://www.open-nes.co.jp/>

【担当部署】 東日本支社 交通サービス部 担当：高橋  
〒338-0013 埼玉県さいたま市中央区鈴谷4-8-1  
TEL 048-840-3720 FAX 048-840-3719

【お問合せ・注文先】 商品受付コールセンター  
電話 0120-890-243 (通話料無料 24時間受付可能)  
FAX 048-840-3713

NJK-1509002B

お問合せ先

〒130-0026 東京都墨田区両国二丁目1番4号  
一般社団法人全国交通信号工事技術普及協会事務局  
TEL:03-6659-3586 FAX:03-3846-5582  
URL: <http://www.zenshinko.jp/> E-mail: [info@zenshinko.jp](mailto:info@zenshinko.jp)